



今井 節治 (神 崎)

ふるさと

随想

「故郷は遠くにありて思うもの」といわれているが、最近の市町村合併により、遠いふるさとから地名の郡や町の名前が消えて思いも寄らぬ名前に変身したところがある。私たちが思うふるさととは、昔なじみの地名が残っていてこそ一層の愛情と昔の思い出や郷里に残っている友の顔が浮かぶものである。関東に在住の東予出身の人から、郷里の新しい市名が「とてつもなく大きようさん」で非常に恥ずかしいと便りが

あった。その内慣れるであろうが、「名は体をあらわす」には時間が掛かるだろう。私の生まれ故郷は中国の「大連市」だが、新中国になったときに、この市名は歴史的に問題があったので「変更するのかな」と思っていたが、中国の有数な経済発展都市として名を残している。日本人がつけた町名や建物は変更されたが、私はここで11年過ごした。

第二のふるさととは東予市、昔の壬生川だが、ここで終戦後の多感な少年期と青年期を9年過ごした。ここで初めての新生日本の生活になじんだ。今も94歳の母が暮らしている。第三のふるさととは「松前町」である。ふるさとといっても、今は関東と名古屋に在住している二人の息子たちの生まれ故郷であり、息子たちは、お盆と正月には懐かしんで帰省し、帰ればミニ同窓会を楽しんでいる。

私は彼らのふるさとを守る立場にあり、帰れば生きのよい地元の魚をあれこれと料理し続ける。なじんだ味は、ふるさとを思い起こすであろう。私は松前町に在住して38年になり、イッパシの松前人である。と同時に終の棲家^{すまみか}でもあつた。松前町をこよなく愛していくためには、ほんとうに住みよい町づくりに参加していくのは、転出した子どもたちのためでもある。ふるさととは誰にでもあり、10年も住めば都であり、ふるさとのようなものである。

★ 1歳ですよろしく ★



りっくん大好き♡ずっと仲良しでいようね!

父 典明さん
母 亜紀さん

平成15年3月21日

みやした
宮下 力くん
(西高柳)



強くやさしい子になりますように!

父 和典さん
母 裕美さん

平成15年3月30日

いしばしむねのり
石橋宗典くん
(神 崎)



笑顔で元気な女の子でいてね。

父 武朗さん
母 千恵子さん

平成15年3月25日

いがうえさくらこ
伊賀上 櫻子ちゃん
(南黒田)

4月、1歳になられるお子さんの写真を募集しています。背景が明るい写真をお持ちの上、3月1日(月)~10日(水)の執務時間中に役場3階総務課秘書広報係へ(先着6名まで)。

~痴呆相談事業のお知らせ~

講演会 銚石和彦先生
愛媛大学医学部付属病院
神経精神科医師

日 時 3月13日(土)
講演 13時30分~
場 所 松前町総合福祉センター
2階 集会室
問い合わせ 支援センター菜の花
☎984-7366